

第9回とりアートオペラ公演企画委員会報告

日時 平成27年9月5日(土) 13:30~15:30
会場 倉吉市文化活動センター 1F 事務室にて

作業 とりアートオペラ公演ポスターの貼付の仕事

県内主な施設⇒送付済み 倉吉市内公民館、小中高校、中部地区公民館・文化施設へもメール便にて送付済み。
倉吉市内ポスター貼付作業については、計羽・鈴木が対応する。

チケット販促

- ① 一般券・学生券の販促依頼について⇒キャスト・スタッフ・合唱団の皆さんに手持ちして頂き販売促進に協力いただいている。自由席605枚、学生券120枚の委託済み。
- ② 親子チケット発売について⇒九月より本部のみで発売しています。9/5現在12枚売れています。
- ③ 指定席チケットの9/4現在の売り上げ報告がありました。⇒A席=41枚、B席=200枚、C席=71枚、D席=5枚、E席=4枚、F席=13枚 合計 334枚。

予算策定の見直しの件

現段階での収支予算書の策定について

- ① **ガラコンサート決算報告**があり、150万円の予算に対し、1,617,858円となりました。
- ② **本公演予算概算**については、平成27年度予算総額の24,649,800円から、ガラコンサート実質経費を引いた23,231,442円+入場料収入で賄わなければなりません。既に決定している支出(謝金関係=契約済み)額を除いて、縮減できる箇所を試みとして策定した結果、総額24,938,747円となり、1,707,3055円の赤字となります。それを補うためには、最低限チケット488枚の売り上げが必要となります。既に指定席券のみで334枚売れていますので、黒字は確実に目論んでいます。**未来中心利用料の概算⇒現段階ではホールと備品代総計が1,395,680円となっていますが、流動的です。**
練習会旅費の概算⇒練習会旅費は、想定した練習回数が増え、膨大になっています。これらは、修正予算として策定しています。
- ③ 出演者ギャラの概算は、想定通りに実施いたします。
- ④ 参加団体の経費弁済(洋舞連盟関係)⇒その経費負担は、今後実費が分かり次第策定いたします。
- ⑤ VTR作成業者委託について⇒当初予定していた「山陰ビデオシステム社」の見積額では予算的に無理があるとの判断で、ケーブルテレビ社等に相談し、予算内での実現を図る事になりました。(NCN社等)

公演当日の役務配置の件

スタッフ要員

舞台回り⇒接客1、本部事務⇒1(鈴木百々子)、アナウンス⇒1(影アナ)、連絡係⇒1
受付回り⇒受付6(チケットもぎり)、花束担当⇒1、当日券売り場⇒2、ドア係⇒8(1F内外2名ずつ、1Fサイド2名、2F左右2名)、ホール内整理⇒6(案内係) 総計26名の動員を参加団体及びとりアート役員より募ります。

県文連舞台分野5団体の会

次年度の江原道芸総との交流事業の取り組みについて

○オーケストラ編成規模の決定については、両作品(アマール/バスティアン)についても、簡易版で行うことに決定しました。

簡易版の規模は、プロ6名と地元奏者5名で室内アンサンブルを編成します。

第一ヴァイオリン2名、第二ヴァイオリン2名、ピオラ2名、チェロ2名、コントラバス1名、オーボエ1名、ピアノ1名で、総計11名編成とします。オーケストラ経費は1,185,000円程度になる予定です。

○予算編成については、舞台経費等の試算を経て、9月中旬に予算案・企画書を策定し、10月には県文連に助成金申請書を提出する予定。各種助成金申請についても11月締め切りまでに数社に応募予定。

○参加団体の負担金の了解については、了解が得られない団体もあり、今後検討が必要。

◆第9回とりアートオペラ公演企画委員会

参加者//鈴木 百合子(鳥取オペラ協会)・計羽孝之(鳥取オペラ協会)・西岡千秋(鳥取オペラ協会)//・生原清明(鳥取県合唱連盟)//山根修子(オーケストラ・マネージャー)//**オブザーバー**//・村上(とりアート本部)
欠席届/尾坂俊恵(鳥取県ピアノ指導者協会)・井上拓也(鳥取県オーケストラ連盟)・吉田奈穂美(とりアート中部地区委員)・目次裕子(鳥取県洋舞連盟)・